

(仮称)

彫刻アトリエ館 公開見学会

令和4年

9/25(日)~10/2(日)

※10/1(土)を除く

事前申込制

アトリエと作品の一部を公開します。



北村西望氏の代表作「平和祈念像」の小さな彫刻も展示します。



数々の作品が誕生したアトリエ空間

(仮称) 彫刻アトリエ館は、北村治禧氏の父である西望氏が、大正11年に曠原社(こうげんしゃ)の彫刻研究所を開設した場所であり、昭和28年に西望氏が井の頭に転居されるまで制作活動をしたアトリエ。その後、治禧氏ひとりの創作活動の場となり、昭和58年に現在のアトリエに建て替えられました。この施設は、平成13年8月に治禧氏が逝去されたあと、平成14年3月にご遺族からお二人の数多くの彫刻作品等とともに北区に寄付されたものです。



長屋門



アトリエ館2階



アトリエ館内部



北村 治禧 「妖精」

内田康夫『北の街物語』(中央公論新社)
浅見光彦が地元・北区を東奔西走し、事件の解決に挑む。物語のキーとなる「妖精」は、治禧氏の作品がモチーフとなっている。

●公開日時／9月25日(日)~10月2日(日)※10月1日(土)を除く

各日①午前10時~②午後1時~ ※見学時間は1時間程度

●定員／各回8名(事前申込制、申込順)

※新型コロナウイルスの影響により人数を変更させていただく場合があります。

●場所／(仮称)彫刻アトリエ館(西ヶ原1丁目)

●申込方法／電話またはメールからお申込みください。

【必要事項】応募者全員の氏名、代表者の住所、電話番号、希望日時

申込開始

9月1日(木)
9時~

【申込・問合わせ先】(公財)北区文化振興財団

TEL 03(6338)5711(月曜除く9:00~17:00)

申込専用メールアドレス kcf_bunkasinkou@kitabunka.tokyo >>>

※メールの件名を「アトリエ見学申込」としてお申込みください。

